

## 令和元年度 第10回教育研究評議会議事要録

日時 令和2年1月17日（金）10:00～11:47  
場所 事務局第1会議室  
出席者 三村学長，尾崎理事，太田理事，岩切理事，鳥羽田理事，佐川副学長，折山副学長，内田人文社会科学部長，荒川教育学部長，田内理学部長，増澤工学部長，戸嶋農学部長，木村図書館長，栗原全学教育機構長，小林評議員，田中評議員，蓮井評議員，小野寺評議員，瀧澤評議員，金評議員，乾評議員，梅比良評議員，大久保評議員，福興評議員

### 議 題

#### 審議事項

- 1 人事給与マネジメント改革による新たな教員業績評価の導入について
- 2 第3期中期目標・中期計画の変更について
- 3 令和2年度茨城大学学年暦について
- 4 安全保障輸出管理体制の見直しについて
- 5 教員の配置転換について
- 6 教員の休職について
- 7 その他

#### 報告事項

- 1 教員の人事について
- 2 平成30年度決算検査報告説明会について
- 3 オープンキャンパス及び茨城大学説明会について
- 4 多要素認証導入スケジュールについて
- 5 その他

## 議 事 概 要

### I 審議事項

- 1 人事給与マネジメント改革による新たな教員業績評価の導入について  
学長から，審議願いたい旨の提案があり，さらに，尾崎理事及び佐川副学長から資料1に基づき説明があった。なお，本日の意見や，2月4日開催の全学説明会での意見を元に，教員業績評価ワーキンググループや全学人事委員会にて検討を行い，令和2年2月の評議会で決定，試行期間を経てよりよいものを制定していくこととなった。

#### 【主な意見】

- ・業績評価を行わないとどういったことになるのか。他大学例や文科省との関係など示して欲しい。
- ・研究分野のミニマムリクワイアメントに2つの観点があるが，要求をクリアするために研究レベルが下がることが懸念される。どちらか1つでいいのではないか。
- ・絶対評価と相対評価が混ざっていてわかりにくい。A+でもボーナス等処遇

に反映される人とされない人がいるのは、納得がいかない。

・評価委ウェイトについて、教員の自由裁量部分は柔軟に考えていただき、各学部で変更できるようにしてほしい。学部における個別の事情をどこまで取り込んでいくのかは、議論が必要である。

・共通ループリックだと、教授もテニユアトラック教員も同じ指標となり、若手が不利になってしまう。職位ごとにループリックを設けるべきではないか。

## 2 第3期中期目標・中期計画の変更について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、さらに、佐川大学戦略・IR室長及び施設課長補佐から資料2に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

## 3 令和2年度茨城大学学年暦について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、さらに、学務課長から資料3に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

## 4 安全保障輸出管理体制の見直しについて

学長から、審議願いたい旨の提案があり、さらに、研究・社会連携部長から資料4に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

## 5 教員の配置転換について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、さらに、尾崎理事から資料5に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

## 6 教員の休職について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、さらに、全学教育機構長から資料6に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

## 7 その他

無し

## II 報告事項

### 1 教員の人事について

学長から、資料7に基づき報告があった。

### 2 平成30年度決算検査報告説明会について

岩切理事から、資料8に基づき報告があった。

### 3 オープンキャンパス及び茨城大学説明会について

折山副学長から、資料9に基づき報告があった。

### 4 多要素認証導入スケジュールについて

羽瀧学長特別補佐から、資料10に基づき報告があった。

5 その他

- ・次期執行体制の構成について（机上配布）  
太田理事から資料に基づき報告があった。

Ⅲ 監事からの意見

- ・特になし

Ⅳ その他

無し

次回 教育研究評議会開催

2月13日（木） 14時00分から